

平成25年度 廃棄物・リサイクル部会活動報告

部会長 原 田 由 美

1 部会での活動

東海市環境基本計画の趣旨に沿い、平成22年度に策定した「第3次東海市ごみ処理基本計画」(平成23年度～32年度)に位置付けた3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)推進の有効適正な方策について、私を含む部会メンバー5名は、3R推進協議会(全委員11名)に参画し、委員がそれぞれの立場から市への提案と意見交換を行ってきた。

2 25年度の部会活動内容

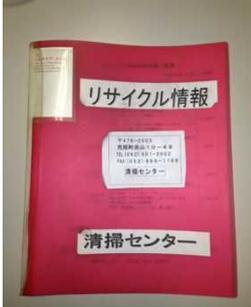
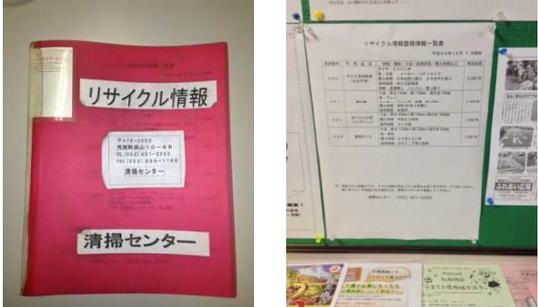
(1) 重点事業の選定

3Rの中で2番目に大切な「リユース:再使用」の事業である「不用品リサイクル情報」の利用減少等の課題について検討及び事業見直しに取り組むこととした。

(2) 事業見直しに関する検討及び実施

ア 広報啓発方法

㍑ 掲示方法の改善

従来	現在
	
リサイクル情報ファイル のみの掲示	各公共施設の掲示板での掲示

(イ) 町内会・自治会への回覧による利用啓発

110町内会・自治会に回覧の依頼を行い、合計2,877地域での回覧を実施

(ウ) 市広報等での情報提供

a 市の広報での周知活動

b 市ホームページの刷新及びトップページへのピックアップ

c 秋祭り消費者広場での啓発

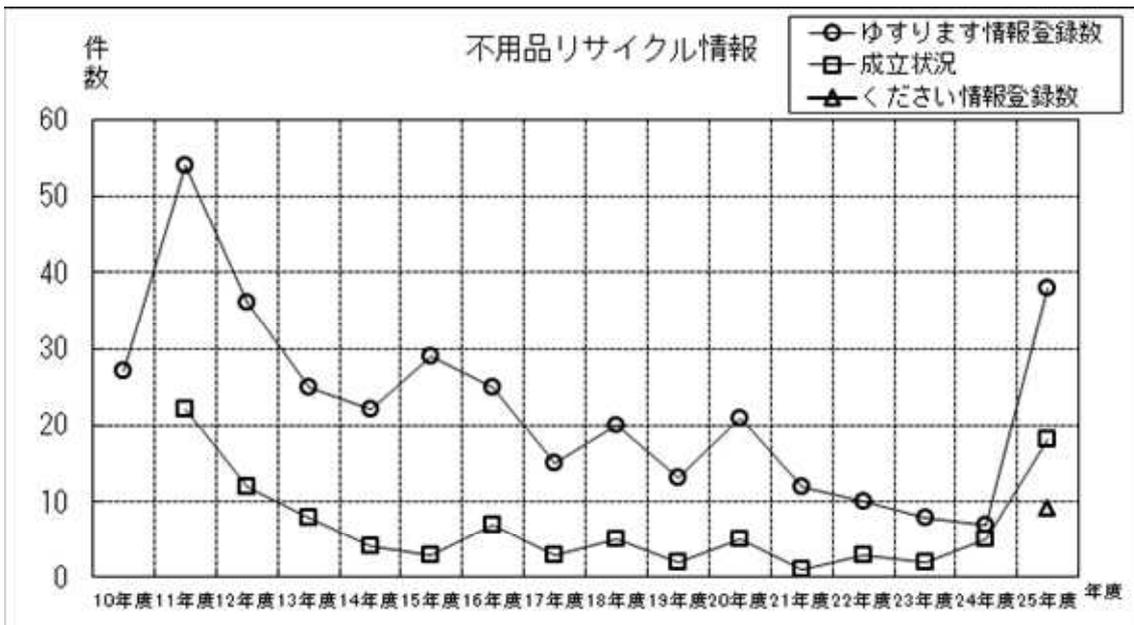
イ ホームページ入力フォームの追加

ホームページ上に入力フォームを設け、利用者の利便性を向上

ウ 制度見直し

	従来（見直し前）	現在（見直し後）
制度	<ul style="list-style-type: none"> ・譲る側のみでの情報 ・文字のみでの掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・譲る側の情報→「ゆずります情報」 ・譲り受ける側の情報→「ください情報」 ・写真を掲載
効果	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・不用品希望者で掲載されていない不用品が欲しい方は、「ください情報」への登録でリユースの輪を広げられる ・希望者の需要を把握できる ・交渉成立の可能性が広がる ・写真掲載で、わかりやすい不用品情報の提供ができる

3 活動実績



平成25年度は38件と利用者数が大きく改善。東海市のリユースが進み、ごみ減量に大きく貢献することができた。

4 活動を通しての感想と今後の期待

リユース事業を見直し、改善に向けての活動を通して、消費者の一人としてごみの減量やリサイクル推進への貢献を真剣に考える機会を与えていただいたことにより、私を含め委員の意識も大いに向上したものと思っている。

今後は、委員をはじめ市民一人ひとりがごみ処理に関心を持ち、東海市が環境への負荷が少ない循環型社会へ貢献していることを期待する。

以上